

神奈川山梨教会連合会だより

かりん

「命がけの信心をせよ、
かけた命は神は取らぬ」

今村國広先生は、昭和十四年二月二十八日、佐賀県の呼子で漁業を営む福浦梅太郎氏・マサ氏の九人兄弟の三男として出生。幼い頃より両親を手伝い、中学卒業後漁師となり、家族と共に仕事に従事。しかし十七歳の時、ひどい胸焼けに苦しめられ、母の勧めで呼子教会に参拝。日参を重ね、三年後に全快のおかげを受けられる。その後翌年には、呼子教会に修行生として入り、修行を重ねられる。

昭和三十九年、二十五歳の時に学院に入学、翌年卒業され、二十六歳で教師補命を頂かれる。同年秋には、呼子教会の親教会である、甘木教会で修行されるようになる。

修行を重ねる中、昭和四十六年に生麦教会在籍今村久子先生とご結婚。前教会長可乃先生の養子となり姓が今村にかわる。三人の子供と七人の孫を授かる。

平成四年、前教会長今村可乃先生がご逝去。翌年に三代目教会長に就任されました。

○最近印象に残ったお話などありますか？

國廣先生（以下…国）…Aさんがおかげを受けられた話が、最近では最も印象深く残っている。Aさんは飲食店を夫婦で経営されていたのだが、ある日、ひどい客に捕まり、近くの橋に呼び出され、Aさんは橋の下の川へ投げ込まれたのだ。川底が浅く、頭を強く打ってしまい、すぐ救急車で駆け込まれたものの、意識不明の重体だった。

川でスベって山でコロんで…とってきました

Interview

第33回 生麦教会 今村國廣先生



その頃はAさんは信心されていなかったが、千葉に住むAさんの姉が熱心な信者さんで、Aさんのご家族総勢4名を連れて急いで参って来られた。「意識不明だが、なんとか助けて頂きたい。」とお届けされた。

○意識不明なら、助かるのは難しいと考えるしまうのですが。

国…お結界でお取次を受けた時、神様から「助かる」というお知らせのようなのが聞こえたので、Aさんは助かるだろうと思った。しかし、それを皆さんに言う訳にはいかないので「きつと助かるから、しっかりご祈念させて頂こう！」と励まし、皆で大祓詞を何十回とあげてご祈念させて頂いた。

すると、意識が戻り、数週間で退院され、それだけでも驚いたのだが、その後Aさんがご夫婦でお礼参りに来られた際、話されたことに更に驚いた。

Aさんは意識が戻る前夢のようなのを見たと言う。それが、舞台が出てきて、音楽が流れてきた中、金の装束の二人の舞人が、楽に併せて扇子を持ちながら舞っていた、と言われる。綺麗だなと見ている内に、気がついたということを言われ、本当にビックリしたよ。

○金光教のことを知らない頃なのに、なぜ吉備舞の夢を見られたのでしょうかね。

国…ただ意識が戻っただけでなく、吉備舞を見たものだから、Aさんも「これは神様のおかげに違いない」とすんなり思えたようだ。おかげを知ってもらいたくて、もしかしたら神様が夢をお見せになったのかもしれない。

私もご家族も命がけでご祈念させて頂いたから、とても嬉しかったよ。神様からのおかげを実感し、感激させて頂いた。

○ありがとうございました。

（今村則子）

暑さの残る八月三十一日(土)、鶴見教会 6 階ホールで開催されました。参加者は 19 教会から 60 名でした。冒頭、神奈川山梨教会連合会福田光一会長(神奈川教会)から「今日の話参考に神・信仰の視点を見直してみたい」との挨拶に続いて、櫻井智行先生(鶴見教会)の『映画を通して宗教を考える 「となりのトトロ」等に見る日本の神様と金光教』と題しての講話に入りました。

「となりのトトロ」は、今話題の宮崎駿(はやお)監督の代表作で、一九八八年の映画です。講演の中でも主要な場面が映写されました。アニメ映画ですから、画面はすべて描かれたもので、宮崎調の自然と人物と動物が登場します。物語は田舎に引っ越してきたお父さんと娘二人(姉のサツキと妹のメイ)の自然豊かな田舎生活を描きます。メイが入り込んだ森で架空の生き物「トトロ」に出会い、トトロとメイの仲良い交流がいろいろ描かれます。トトロは自然のなかにいる「精霊」で、「神」と言ってもよいものです。トトロは親切で人間へ愛情深く接し、決して悪いことはしません。ほほえましいのです。「となりのトトロ」は、宮崎監督が大切にしたい「宮崎監督の神」を表現した代表作といえるもので、その後世に出た「もののけ姫」、「千と千尋の神隠し」等にも流れている神概念が基調にあります。

講話の後半には、標題にある「日本の神様

「教祖 130 年教師信徒研修会」
が開かれる

と金光教」にも言及されました。

「日本の宗教概観」として、縄文・アイヌの自然・精霊・祖先信仰に始まり、弥生・古墳時代の仏教・道教・神道、奈良・平安時代の密教・儒教・神仏習合、鎌倉時代の修験道・朱子学、室町安土桃山時代のキリスト教、江戸末期の新宗教(黒住教・天理教。金光教など)、明治時代の神仏分離・国家神道まで一気に宗教を概観されました。更に、「金光大神の取次」として、十節のお言葉上げられました。これらのテーマは大きく、広く、深く、ここでの報告は割愛いたします。

講演後、引き続き「感話発表」をお二人の方がされました。芳村享映さん(鶴見教会)は、「この日紹介されたトトロの画像の断片からも、子供だから見えるものがある。子供だから恐がっていない。我々も感じたいものです。」と述べられました。また、山田信二先生(横浜西教会)は、「トトロを通して金光教を考えると、教祖の時代は目に見えない不思議なはたらきにもリアリティがあった。教祖のよいうな神を表現する人が必要だった。」と私見を話されました。

その後、お二人の質問者が発言され、活発な研修会になりました。閉会の挨拶では、高橋正一信徒部長が「連合会や関東教区の活動を各教会でお伝えいただき、行事への参加を希望します」と要望されて、この日の研修会を閉じました。

(小田原教会 辻 秀志)

○かりんの輪

「世話になるすべてに礼をいうころ」

横浜西教会 入間川光子

「世話になるすべてに礼をいうころ」この四代金光様の御歌を、父は自分で縫った布に書き、背中に貼り付けて、自転車で教会に参拝していました。漕いでいる姿は想像するとちよつと個性的ですが、道行く人に見てもらうには分かりやすく、私も好きな御歌です。

この御歌が、横浜西教会の信心の実践目標になっていた頃、私も日々実践を心がけていました。人に対しては感謝の気持ちを持てるようになって、もの「もの」に対しては日常の中でついつい感謝を忘れてしまい、なかなか思ったようにうまくいきません。思い出した時にまとめてお礼をしたりしていました。

その頃、勤め先の図書館で使っていた携帯型のバーコードリーダー4台は、「ゴージュ」型「ジョバンニ」「カムパネルラ」「ザネリ」と名前が付けられていました。宮沢賢治、図書館らしいセンスだな、と感心していたのですが、作業しているうちに気がつく、「今日もよろしくね」とか「お疲れ様」とか、機械なのに自然と声をかけているのです。周りの皆もまるでペアを組むように1台を選んで、可愛がりながら一緒に仕事をして、彼ら4台

「猛暑の下のマスつかみ」
みんなのつどい報告

猛暑が続いた今夏7月27日(土)に、「みんなのつどい」が小田原市いこいの森で開かれました。参加者は、9教会から43名(大人26名、高校生以下小人17名)でした。

早朝から猛暑日を予感させる日差しが照りつける駐車場に降り立ち、会場の木々が作る木陰を眺めてホッと一息つく。ここは小田原駅の西、バスで10分程の「いこいの森」。県西の様子に疎いからなのか、小田原駅からすぐにこんなところがあるのか：とおどろきつついると、次々と参加者が到着してきた。園内へ移動し開会行事を済ませると、プログラムはメイン行事の「マス掴み」へと進んでいった。

森の中に流れる涼しげな清流から引かれたマス池に放たれたマス40数匹と、参加者たちとの闘いが始まる。老若男女というよりは、今の子供と昔の子供が入り乱れて：というほうがピッタリくるような、参加者みんなが一齐に子供に戻って魚を追いかけ回し、小さなバケツの中にもみるみる魚があふれていく情景に頼もしさを感じた。

掴んだマスは、すぐに炊事場へ運ばれ捌かれていく。ヌルヌルする魚体に塩をまぶし、ヌメリを取りながらの作業は意外に難航したが、手数を増やして進んでいく。その隣で

はパスタが茹でられ、そのまた隣では肉が焼かれていく。昼食への期待が、弥が上にも高まっていく。

マスの調理に手間取ったものの、食事の準備がほぼ予定通りに整ったので、さあ昼食：というところで問題発生。炊事場付近には程よいスペースが無く、出来上がった物をみんなで手分けをして広場へ運んで昼食となった。でもその広場には、冒頭書いたような木陰は無く、太陽が頭の上に近づくにつれて少なくなっていく日陰をシェアしながらの昼食となった。準備不足のこと、この場をお借りしてお詫び申し上げます。

さて、食後には清流で冷やされたスイカをいただき、片付け、余った食材まで仲良く分けて、森を後にしました。

また一緒に遊びましょう。

(子安教会 村田光治)



今日のメニューはマスのパスタ



を使って行う、年に1回の蔵書を点検する地味な業務は、普段よりも楽しく、作業もとてもはかどりました。

カムパネルラは特に読み取りづらいつわられていた1台で、それならばと試しに「一緒に頑張ろう」と励ましながらやってみると、全く問題なくスムーズに読み込んでくれて、皆に不思議がられました。作業しづらいつと敬遠されて出番が少なかったから拗ねていたのかもしれない。「もの」にもやっばり心があるのかもしれないと感じました。

例えばこれが普通に1、2、3、4と番号別けされていただけなら、おそらく話しかけたりはしなかったのではと思います。名前があることで妙に愛着が湧くのがポイントで、これならお礼も自然と言えるのではないかと、思いました。お世話になるすべてに名前を付けるのは難しいですが、ひとまず愛用の靴3足に「ソニー」「フレッド」「マイケル」(母の好きな某映画の三兄弟)。思ったよりも効果があります。無名の頃よりも大切にしようになり、話しかけたりお礼したり。次男フレッドは気弱に見えてしまうので少しひいき気味です。色んなものに以前よりお礼を言える心になってきたと思います。

父の「背中」の御歌の自転車漕ぎもなかなか斬新ですが、私も工夫しながら色々と実践したり、お世話になっているすべての人やものに感謝して、大切にしていきたいと思えます。ありがとうございます。

平成 25 年 神奈川山梨教会連合会

生神金光大神大祭日程

教会名	日 程
甲府教会	10月20日(日) 13時30分
津久井教会	10月26日(土) 13時00分
鎌倉教会	10月27日(日) 13時30分
登戸教会	10月27日(日) 13時00分
横浜西教会	10月27日(日) 13時30分
大明教会	10月27日(日) 11時00分
平塚教会	併せて開教80年祭
横須賀教会	11月3日(祝) 13時30分
生麦教会	11月3日(祝) 13時00分
丸子教会	11月3日(祝) 13時00分
相模原教会	11月3日(祝) 14時00分
子安教会	11月10日(日) 13時30分
武蔵小杉教会	11月10日(日) 11時00分
鶴見教会	11月11日(月) 13時00分
大磯教会	11月14日(木) 13時00分
野毛教会	11月16日(土) 13時30分
小田原教会	11月23日(祝) 14時00分
神奈川教会	11月24日(日) 11時30分
藤沢教会	11月28日(木) 11時00分
川崎教会	未 定
南甲府教会	未 定

《お知らせ》

○講話と夕食の会(信徒部主催)

日時 11月30日(土) 15時30分

会場 神奈川教会

講師 桜井邦朋氏

(元神奈川大学学長

宇宙物理学)

※講話のみの参加もできます。

※会食までの参加の方は、会費が必要となります。

※参加申込など詳しいことは、これから各教会宛送付されます案内をご参照ください。

多くの方のご参加をお待ちしております。



〈 な が れ 〉

『連合会ホームページのご紹介』

平塚教会 上杉秀一

奥川先生から「ホームページ作成の後任者に」とのご依頼を受けて6年が経ちました。私は団塊の世代で、要介護となった母親のケアを夫婦でしながら、連合会のお手伝いをさせて頂いています。では紙面をお借りして簡単にご説明

します。表紙のページは上段にタイトルとカウンター、左側がメニュー、画面中央には連合会のイメージ写真と「今日のみ教え」と更新履歴を配置しました。沢山の方にご覧頂きカウンターは8,178回となりました。

用意したメニューは、教師会・かりん・総会報告・育成部・信徒部・布教部・総務部・組織図・教会住所・ご挨拶・掲示板・リンクで、選択すると画面中央に情報が現れます。教師部の活動報告・「かりん」・総会報告は、定期的に更新を行います。最新情報をご覧頂けます。

ページの検索は『金光教神奈川・山梨教会』とキーワードを入力する方法をお勧めします。掲示板は交流の場にお使い頂ければ幸いです。ではアクセスをお待ちしています。

金光教神奈川山梨教会連合会

発行者 福田 光 一

〒221-0057 横浜市神奈川区青木町六一二十五

金光教神奈川教会内